

経済学史学会第76回大会プログラム

5月26日（土）大会第1日目

小樽商科大学, 2012年 5月26日（土）-27日（日）

	第1会場	第2会場	第3会場
9:50	金子 創（慶応義塾大学・院） カンティオンにおける「内在価値」： 経済環境及び価値尺度の表現 司会者：御崎加代子（滋賀大学） 討論者：米田昇平（下関市立大学）	西林勝吾（立教大学・院） 汚染制御の経済学説史に関する一考察 —A.V.クネーゼによる水汚染の経済分析の検討を中心に— 司会者：姫野順一（長崎大学） 討論者：山根卓二（人間環境大学）	石田教子（日本大学） ヴェブレンの経済学方法論と文明史観 司会者：平井俊顕（上智大学） 討論者：佐藤方宣（大東文化大学）
10:50			
11:00	三好 宏治（神戸学院大学） 『道徳感情論』の3つの徳と『法学講義』の3つの対人権 司会者：只腰親和（横浜国立大学） 討論者：佐藤有史（湘南工科大学）	黒滝正昭（宮城学院女子大学） M.H.トゥッガン・バラノーフスキーとR.ヒルファーディング 司会者：有江大介（横浜国立大学） 討論者：河野裕康（金城学院大学）	川俣雅弘（慶応義塾大学） 経済学史研究への科学的アプローチ 司会者：堂目卓生（大阪大学） 討論者：佐々木憲介（北海道大学）
12:00			
12:00	昼 食		
12:50	総 会		
13:50	総 会		
14:00	服部正治（立教大学） 経済思想史における穀物の位置 司会者：中澤信彦（関西大学） 討論者：高哲男（九州産業大学）	大槻忠史（東京外国語大学・院） 日本における大循環研究と赤松要 —1930年代を通じた学説的位置 司会者：荒川章義（九州大学） 討論者：八木紀一郎（摂南大学）	セッション 「ビグー厚生経済学の再検討—『富と厚生』出版百周年—」 組織者：本郷亮（弘前学院大学）・山崎聡（高知大学） 司会者：近藤真司（大阪府立大学）・本郷亮 討論者：松山直樹（北海道大学・院）・ 伊藤宣広（高崎経済大学）・八田幸二（中央大学）・ 下平裕之（山形大学）・西川弘展（奈良産業大学）
15:00			
15:10	水野忠尚（早稲田大学・院） チューネンの孤立国における自然賃金 司会者：田村信一（北星学園大学） 討論者：池田幸弘（慶応義塾大学）	橋本努（北海道大学） 高田保馬の勢力論と民族論 司会者：八木紀一郎（摂南大学） 討論者：上久保敏（大阪工業大学）	高見典和（日本学術振興会特別研究員PD） ビグー厚生経済学の歴史的文脈 山本崇史（北海道大学） 関税改革論争におけるビグーの外国貿易論 —貿易論への「厚生」概念の本格的な適用に関して—
16:10			
16:20	村田和博（埼玉学園大学） 古典派経済学における経営組織論の特質 —分業と協働の観点から— 司会者：深貝保則（横浜国立大学） 討論者：岩下伸朗（福岡女学院大学）	荒川憲一（防衛大学） 戦時経済思想と成長戦略 司会者：小峯敦（龍谷大学） 討論者：中村宗悦（大東文化大学）	本郷亮 ビグー厚生経済学とは何か？ —「富と厚生」の形成過程の観点から— 吉原千鶴（立教大学・院） ビグーの経済理論における資本の維持 山崎聡 ビグーの経済思想における必要と分配
17:20			
17:50	懇 親 会		
19:50	懇 親 会		

5月27日（日）大会第2日目

	第1会場	第2会場	第3会場
9:30	セッション「日本のリカード研究の新展開—理論と政策を中心に—」 組織者：福田進治（弘前大学）、司会者：福田進治 久松太郎（福山大学） 討論者：佐藤有司（湘南工科大学） リカード及びその周辺人物に関する研究の新展開 —R.トレンズを事例として—（仮題）	山口拓実（神奈川大学） マルクスにおけるエコロジー—経済学の萌芽— —自然のEXPLOITATIONとその邦訳語について— 司会者：竹永進（大東文化大学） 討論者：赤間道夫（愛媛大学）	セッション「日本における女性と経済学—1920年代を中心にして—」 組織者：松野尾裕（愛媛大学）、司会者：高哲男（九州産業大学） 討論者：井上琢智（関西学院大学）、西沢保（一橋大学） 松野尾裕 日本における女性による経済学研究／教育の誕生—松平友子について—
10:30			
10:40	石井穰（関東学院大学） 討論者：諸泉俊介（佐賀大学） リカード機械論研究の展開—スラッファによる「革命的变化」をうけて— 益永淳（中央大学） 討論者：佐藤滋正（尾道大学） リカード租税論の再検討—1990年代以降の英語圏の研究をふまえて—	山崎好裕（福岡大学） 原発の確率論的安全評価とマクロ合理的期待形成 司会者：井上義朗（中央大学） 討論者：吉田雅明（専修大学）	栗田啓子（東京女子大学） 新渡戸稲造の女子経済教育—人格教育における経済学— 生垣琴絵（北海道大学・院） 森本厚吉の女子経済教育—アメリカ消費研究の導入—
11:40	昼 食		
12:30	第1会場		
12:30	共通論題「経済思想はどのようにリベラリズムと取り組んできたか？」 組織者：関源太郎（九州大学）、菊池壮蔵（福島大学） 報告者および論題 新村 聡（岡山大学） 「古典的自由主義とは何か—ジョン・ロック、アダム・スミス、J.S.ミルを中心に」 江里口拓（西南学院大学） 「ニューリベラリズムの社会理論と経済思想：T.H.グリーンを受容をめぐって」 池田幸弘（慶応義塾大学） 「フリードリッヒ・ハイエクの経済自由主義：古典的自由主義とリバタリアニズムの狭間で」 広瀬弘毅（福井県立大学） 「現代経済学と自由主義—戦後経済学の発展の中で—」 司会者：菊池壮蔵（福島大学）、姫野順一（長崎大学） 討論者：小林純（立教大学）、橋本努（北海道大学）		
16:00	閉会の挨拶（代表幹事）		